

債務危機、欧州企業に打撃

主要300社、今年3年ぶり減益

不況に強い業種も波及

【ロンドン＝松崎雄典】欧州主要企業の2012年通期の1株利益は、前年に比べ約3%減少する見通しだ。減益は09年以来3年ぶり。今期増益見通しの米國や日本企業に比べ低迷が目立つ。債務危機が重く、景気に敏感な自動車や素材から、医薬や通信のような不況抵抗業種にも業績悪化が広がった。新興國での伸びも鈍化し利益水準を維持できなくなっている。



減益が予想されているサノフィの本社（パリ）＝ロイター

新興國でも稼げず

調査会社トムソン・ロウレンス・ストークス（Euro・STOXX）をイターが、株価指数「E」構成する欧州主要約300

幅広い業種の主要企業が減益に 2012年の予想減益率			
社名	業種	(%)	
アルセロール・ミタル (ルクセンブルク)	鉄鋼	71	
英豪リオ・ティント	資源	35	
エリクソン（スウェーデン）	通信機器	23	
テレフォニカ（スペイン）	通信	23	
仏ルノー	自動車	16	
独BASF	化学	15	
仏サノフィ	製薬	8	
英蘭ロイヤル・ダッチ・シェル	石油・ガス	9	

0社を対象にアナリスト予想を集計した。今年の1株利益は21・2と前年比約3%減。米國（4%増）や日本（経常利益で6%増）に比べ低迷している。

夏場まではアナリストは増益を予想していたが、欧州の景気回復の遅れや、新興國の成長減速を受けて業績見通しを下方修正した。12年7月9月期決算では、実績が市場の事前予想を下回る企業が、03年以来最も多く、「03年以降、四半期決算として5番目に悪い内容」（米モルガン・スタンレー）と

スペインの通信大手テレフォニカは、スペイン国内で顧客が安価な通信事業者にシフトし、国内売上高が1割以上落ち込んだ。今期の1株利益は1・2と前期比23%減が見込まれている。

医薬では仏サノフィが10月末に発表した7～9月期の利益が市場予想を下回った。競合他社による安価な後発医薬品の浸透が進んだため。景気悪化を背景に低価格品を好む動きが増え、英グラクソ・スミスクラインも今期2%の減益を見込

む。

クレディ・スイス調査部によると、欧州企業は利益の5割強を欧州以外で稼ぐ。米國企業に比べても、過去に植民地が多かった歴史から新興國を成長源とする企業が多いが、7～9月には新興國の伸び鈍化が鮮明になった。

英蘭ユニリーバのインド現地法人ヒンドウスタン・ユニリーバのスリタール最高財務責任者（CFO）は「歯磨き粉や食

品など各部門で売上高が伸び悩んだ」という。英衣料大手バーバリーなど高級品でも中国やアジアで減速感が出ている。

世界的な鉄鋼の需要減から最大手のアルセロール・ミタル（ルクセンブルク）は今期の1株利益は前期比7割減の0・3と見通し。一部のアナリストは赤字転落を予想する。過去の買収の際の借入金が増え、13年の減配も発表された。新興國需要を背景に好

調だった石油メジャーや資源大手も今期は減益が相次ぐ見通し。原油高がいったん落ち着き、中国など新興國の資源需要の伸びが鈍化したため。英豪リオ・ティントは35%の減益見通し。

欧州勢は米國のIT（情報技術）産業のような成長分野に乏しい。世界最大の通信機器エリクソン（スウェーデン）や携帯大手ノキア（フィンランド）はアジア勢などに押されている。